

多様な人材が参入しやすい養成課程に係る調査結果について

- 1. 社会人向け調査（速報値）の結果について**
- 2. 医療関係職種向け調査（速報値）の結果について**
- 3. 学校養成所向け調査（速報値）の結果について**

前回の検討会でいただいた主なご意見（第4回検討会）

＜第4回医療関係職種の安定的な養成・確保に関する検討会（令和8年8月24日）＞

- ・ 養成の質の確保を前提としつつ、医療関係職種のキャリアチェンジの必要性を検討すべきである。その際、医療関係職種間のキャリアチェンジに対する実際のニーズについても把握した上で議論を進める必要がある。
- ・ キャリアチェンジや学び直しは、異なる経験や能力を持つ人材の医療分野への参入につながるものであり、大きな意義がある。その促進に当たっては、単位認定や修業年限の短縮に加え、ICTの活用や夜間・休日開講など、働きながら学べる教育環境の整備が必要である。
- ・ 医療職を志す意欲の高い人材を確保するため、オンデマンドや遠隔授業などの新たな手法を活用し、幅広い層が学びやすい環境を整備すべきである。
- ・ 社会人の医療関係職種への参入促進に向けて、夜間・週末授業、オンライン授業、社会人向けコースの設置など、柔軟な養成課程の在り方を検討する必要がある。また、その際には教育の質を確保するとともに、養成施設への支援についても検討すべきである。
- ・ 社会人のキャリアチェンジを促進するためには、従来の夜間課程のみならず、オンデマンド教育等を活用した学修環境の整備が有効である。また、遠隔地からの受講に伴う経済的負担の軽減についても検討すべきである。
- ・ キャリアチェンジを希望する者にとっては、就労との両立、実習への対応、家庭・子育てとの両立、資格取得までの見通しなど様々な課題があり、両立できる教育環境を整備する必要がある。また、キャリアチェンジや多彩な人材の参入を促進するに当たっては、医療の質確保を前提として検討すべきである。

【参考】養成に係る修業年限

○ 原則、修業年限 3 年以上（100単位程度）を基本としつつ、一定の条件の下で修業年限が短縮された課程が設けられている。

目指す資格	基本の修業年限 (単位数)	基本より短い修業年限 (単位数)	一定の条件（入学資格）
看護師	3 年以上（102単位）	2 年以上（68単位）	2年課程(全日制)：免許を得た後 3 年以上業務に従事している准看護師又は高等学校若しくは中等教育学校を卒業している准看護師
			2年課程(定時制)：免許を得た後 3 年以上業務に従事している准看護師又は高等学校若しくは中等教育学校を卒業している准看護師
			2年課程(通信制)：免許を得た後 5 年以上業務に従事している准看護師
理学療法士	3 年以上（101単位）	2 年以上（66単位）	作業療法士
作業療法士	3 年以上（101単位）	2 年以上（66単位）	理学療法士
言語聴覚士	3 年以上（101単位）	2 年以上（81単位）	大学卒業者又はこれと同等以上の学力があると認められ、大学専攻科・大学院の入学資格を有する者
		2 年以上（81単位）	大学、高専又は医療関係職種の資格法の規定により指定されている学校等において 1 年（高専は 4 年）以上修業し、かつ指定科目を修めた者
		1 年以上（81単位）	大学、高専又は医療関係職種の資格法の規定により指定されている学校等において 2 年（高専は 5 年）以上修業し、かつ指定科目を修めた者
診療放射線技師	3 年以上（102単位）	—	なし
臨床検査技師	3 年以上（102単位）	—	なし
臨床工学技士	3 年以上（101単位）	2 年以上（87単位）	大学、高専又は医療関係職種の資格法の規定により指定されている学校等において 1 年（高専は 4 年）以上修業し、かつ指定科目を修めた者
		1 年以上（87単位）	大学、高専、医療関係職種の資格法の規定により指定されている学校等において 2 年（高専は 5 年）以上修業し、かつ指定科目を修めた者
視能訓練士	3 年以上（101単位）	1 年以上（75単位）	大学又は保育士養成学校若しくは看護師等養成学校において 2 年以上修業し、かつ指定科目を修めた者
義肢装具士	3 年以上（100単位）	2 年以上（79単位）	大学、高専又は医療関係職種の資格法の規定により指定されている学校等において 1 年以上修業し、かつ指定する科目を修めた者
		1 年以上（52単位）	義肢・装具製作の技能検定一級合格者、又は同検定二級合格者のうち、大学において6か月以上（高等専門学校は3年6か月以上）修業し、指定する科目を修め、かつ当該合格後5年以上義肢装具製作に従事した者
歯科衛生士	3 年以上（93単位）	—	なし
歯科技工士	2 年以上（62単位）	—	なし
救急救命士	2 年以上（70単位）	1 年以上（62単位）	大学、高専又は看護師養成所等において 1 年（高専は 4 年）以上修業し、かつ指定科目を修めた者
		1 年以上（33単位）	救急業務に関する講習を修了し、救急業務に 5 年以上従事した者又は2,000時間以上従事した者
		6 月以上（33単位）	救急業務に関する講習を修了し、救急業務に 5 年以上従事した者又は2,000時間以上従事した者であり、かつ現に救急業務に従事している者

1. **社会人向け調査（速報値）の結果について**
2. 医療関係職種向け調査（速報値）の結果について
3. 学校養成所向け調査（速報値）の結果について

- ・ 調査事業名：医療関係職種の養成・確保に係る調査等支援事業
（社会人向け調査）
- ・ 調査期間：令和8年9月18日（金）～25日（金）
- ・ 調査対象：医療関係職種の資格を保有しない20歳以上の男女 40,520名
- ・ 回答方式：Web調査

基礎情報①（回答者数・年齢分布）

速報値

○ 回答者数・年齢分布

		回答数（名）	割合（%）
全回答者		40,520	100.0
性別	男性	19,108	47.2
	女性	21,412	52.8
年齢	20～24歳	1,580	3.9
	25～29歳	4,135	10.2
	30～34歳	4,020	9.9
	35～39歳	6,426	15.9
	40～44歳	4,216	10.4
	45～49歳	6,099	15.1
	50～54歳	3,227	8.0
	55～59歳	3,558	8.8
	60～64歳	4,004	9.9
	65～69歳	3,255	8.0

基礎情報②（医療関係職種の認知度）

速報値

○ 仕事内容の認知度（単一回答）

回答数 40,520	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT
仕事内容までよく知っている（%）	22.4	5.9	12.0	7.4	5.8	4.2	6.1	4.8	2.4	2.3	3.5	9.8	11.8	6.6
名称とおおよその仕事内容を知っている（%）	51.7	26.5	48.4	27.5	22.3	16.3	29.5	20.4	9.3	9.2	20.4	43.3	45.7	33.5
名称のみ知っている（%）	17.9	42.8	29.4	48.9	40.6	33.2	35.3	44.8	35.9	25.0	31.2	34.9	32.4	37.6
知らない（%）	7.9	24.8	10.2	16.1	31.3	46.3	29.0	30.1	52.4	63.5	44.9	12.0	10.1	22.4

NS：看護師、PHN：保健師、MW：助産師、PT：理学療法士、OT：作業療法士、ST：言語聴覚士、RT：診療放射線技師、MT：臨床検査技師、CE：臨床工学技士、ORT：視能訓練士、PO：義肢装具士、EMT：救急救命士、DH：歯科衛生士、DT：歯科技工士

○ 医療関係職種の資格取得について、「現在検討している」（2.3%）、「過去に検討したが断念した」（5.5%）、「過去に検討し、現在は検討していない」（8.8%）を合わせると16.5%であった。

○ これまでに、医療関係職種の資格取得を具体的に検討した経験（単一回答）

※医療関係職種の資格とはNS、PHN、MW、PT、OT、ST、RT、MT、CE、ORT、PO、EMT、DH、DTを指す。

	回答数	40,520
現在検討している（%）		2.3
過去に検討したが断念した（%）		5.5
過去に検討し、現在は検討していない（%）		8.8
検討したことはない（%）		83.5

医療関係資格取得の検討を断念した理由

速報値

- 医療関係職種の資格取得を検討したものの断念した、又は現在は検討していない理由としては、「学費負担が大きい」（37.1%）が最も多く、次いで「仕事との両立が難しい」（33.4%）、「年齢面に不安がある」（28.1%）が続いた。
- また、「入学要件又は受験準備が難しい」（18.9%）、「養成期間が長い」（18.0%）との回答もみられた。

- 資格取得を検討したものの、断念した、又は現在検討していない理由（複数回答可）

	回答数	5,778
養成期間が長い（%）		18.0
学費負担が大きい（%）		37.1
生活費を確保できない（%）		17.6
仕事との両立が難しい（%）		33.4
家事・育児・介護との両立が難しい（%）		17.1
通学可能な養成校がない（%）		8.9
入学要件または受験準備が難しい（%）		18.9
資格取得後の処遇または収入に不安がある（%）		12.2
仕事内容や就職先の情報が不足している（%）		9.1
年齢面に不安がある（%）		28.1
その他（%）		6.4

○ 医療関係職種の処遇が他産業と同程度とした場合の資格取得への関心度は、「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合わせると約2割となった。

○ 医療関係職種の処遇が他産業と同程度であるとした場合の資格取得への関心度（単一回答）

回答数 40,520	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT
非常に関心がある（%）	2.9	2.5	2.8	3.1	2.8	2.6	2.5	2.9	2.1	2.0	2.4	2.8	2.2	2.2
やや関心がある（%）	14.4	14.9	12.8	16.7	16.5	14.6	15.7	15.9	12.0	13.8	13.0	13.6	12.3	12.1
あまり関心がない（%）	31.8	32.3	31.6	30.9	31.0	32.1	31.5	30.8	33.0	32.9	32.5	31.7	32.9	32.3
まったく関心がない（%）	51.0	50.2	52.8	49.3	49.8	50.7	50.3	50.3	52.9	51.4	52.1	51.8	52.6	53.4

○ 社会人が医療関係職種の資格取得を目指す場合、「働きながら学べる課程」を希望する者が75.1%であった。

○ 医療関係職種の資格取得を目指す場合、望ましい養成課程の受講形態（単一回答）

※ いずれかの医療関係職種に関心のある者のみ回答

	回答数	1,400
働きながら学べる課程（%）	75.1	
仕事を辞めて学業に専念し学ぶ課程（%）	24.9	

（内訳）

	回答数 （名）	割合 （%）
全回答者	1,400	100
性別		
男性	642	45.9
女性	758	54.1
年齢		
20～24歳	44	3.1
25～29歳	155	11.1
30～34歳	102	7.3
35～39歳	171	12.2
40～44歳	128	9.1
45～49歳	188	13.4
50～54歳	157	11.2
55～59歳	165	11.8
60～64歳	161	11.5
65～69歳	129	9.2

- 医療関係職種に関心のある社会人が受講しやすいと思う学修形態としては、「オンデマンド授業を活用し、休日を中心に受講したい」（36.5%）が最も多く、次いで「オンデマンド授業と対面授業を組み合わせた形で受講したい」（28.9%）、「土日を中心に学校へ通学し、対面授業を受講したい」（26.6%）、「オンデマンド授業を活用し、主に朝や夜間に受講したい」（26.3%）が並んだ。

- 医療関係職種の国家試験の受験資格取得に必要な学修について、受講しやすいと思う受講形態。（複数回答可）

※ いずれかの医療関係職種に関心のある者のみ回答

	回答数	1,400
オンデマンド授業を活用し、主に朝や夜間に受講したい（%）		26.3
オンデマンド授業を活用し、休日を中心に受講したい（%）		36.5
リアルタイムのオンライン授業（ライブ配信）を朝や夜間に受講したい（%）		13.6
平日昼間に学校へ通学し、対面授業を受講したい（%）		19.1
平日夜間に学校へ通学し、対面授業を受講したい（%）		16.9
土日を中心に学校へ通学し、対面授業を受講したい（%）		26.6
オンデマンド授業と対面授業を組み合わせた形で受講したい（%）		28.9
その他（%）		0.1
あてはまるものはない（%）		20.6

【社会人向け調査】

- 一般社会人の16.5%（約6人に1人）が医療関係職種の資格取得を検討した経験があった。
- 資格取得を断念した者又は現在は検討していない者の主な理由についてみると、「学費負担が大きい」（37.1%）、「仕事との両立が難しい」（33.4%）、「年齢面への不安」（28.1%）、「入学要件又は受験準備が難しい」（18.9%）、「養成期間が長い」（18.0%）となっていた。
- 医療関係職種の処遇が他産業と同程度とした場合の資格取得への関心度は、「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合わせると約2割となった。
- 資格取得を目指す社会人の75.1%が「働きながら学べる課程」を希望していた。
- 受講しやすい学修形態としては、「休日中心のオンデマンド授業」（36.5%）、「オンデマンドと対面授業の併用」（28.9%）、「土日中心の対面授業」（26.6%）、「朝晩のオンデマンド授業」（26.3%）が多く、柔軟な学修形態へのニーズがみられた。

1. 社会人向け調査（速報値）の結果について
2. 医療関係職種向け調査（速報値）の結果について
3. 学校養成所向け調査（速報値）の結果について

- ・調査事業名：医療関係職種の養成・確保に係る調査等支援事業
(医療従事者向け調査)
- ・調査期間：令和8年9月4日（金）～25日（金）
- ・調査対象：全国の医療関係職種の有資格者※ 12,042名

※ 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、
診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、義肢装具士、歯科衛生士、歯科
技工士、救急救命士

※ 各職能団体を通じて、会員に対して調査

- ・回答方式：Web調査

基礎情報①（回答者数・年齢分布）

速報値

○ 有効回答数

現在の職種	回答数（名）
全職種	12,042
NS	1,349
PHN	24
MW	49
PT	1,972
OT	2,077
ST	379
RT	1,440
MT	2,426
CE	1,321
ORT	177
PO	257
EMT	30
DH	393
DT	81
その他	67

		回答数（名）	割合（％）
全回答者		12,042	100.0
性別	男性	5,854	48.6
	女性	6,107	50.7
	回答しない	81	0.7
年齢	20歳未満	3	<0.1
	20～24歳	534	4.4
	25～29歳	932	7.7
	30～34歳	1,175	9.8
	35～39歳	1,482	12.3
	40～44歳	1,774	14.7
	45～49歳	1,823	15.1
	50～54歳	1,819	15.1
	55～59歳	1,456	12.1
	60～64歳	730	6.1
	65歳以上	314	2.6

※割合は小数第2位を四捨五入している。

NS：看護師、PHN：保健師、MW：助産師、PT：理学療法士、OT：作業療法士、ST：言語聴覚士、RT：診療放射線技師、MT：臨床検査技師、CE：臨床工学技士、ORT：視能訓練士、PO：義肢装具士、EMT：救急救命士、DH：歯科衛生士、DT：歯科技工士
※その他：医療関係職種として従事していない者

基礎情報②（学歴等）

速報値

○ 保有している学歴・学位・称号（最も高い学歴・学位・称号）

	全職種	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT	その他
回答数	12,042	1,349	24	49	1,972	2,077	379	1,440	2,426	1,321	177	257	30	393	81	67
高等学校卒業（％）	0.6	2.9	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.3	1.7	1.2	6.7	0.3	0.0	9.0
各種学校卒業（％）	3.1	8.4	4.2	8.2	1.7	2.6	0.3	2.7	2.8	2.3	2.8	1.2	0.0	2.8	7.4	7.5
専門学校卒業 （専門士）（％）	28.4	35.7	8.3	12.2	24.8	26.8	16.9	14.7	27.9	38.1	23.7	38.5	40.0	53.2	70.4	20.9
専門学校卒業 （高度専門士）（％）	5.7	7.0	8.3	10.2	10.2	7.8	5.8	2.2	2.8	4.3	5.1	6.2	3.3	4.3	2.5	1.5
短期大学卒業 （短期大学士）（％）	9.5	7.9	16.7	8.2	4.0	6.1	2.1	17.8	17.2	4.9	7.3	1.2	0.0	14.8	4.9	4.5
高等専門学校卒業 （準学士）（％）	0.8	2.3	0.0	8.2	0.6	0.5	0.3	1.1	0.7	0.4	1.1	0.8	0.0	0.5	1.2	0.0
大学卒業 （学士）（％）	36.0	16.5	41.7	32.7	36.8	37.6	53.3	45.8	37.6	40.9	44.6	36.6	33.3	15.0	11.1	31.3
専門職大学卒業 （学士（専門職））（％）	1.7	1.4	0.0	2.0	1.3	2.0	2.4	2.5	1.6	1.1	2.8	2.7	3.3	0.8	0.0	0.0
大学院修了 （修士・博士）（％）	14.0	17.8	20.8	18.4	20.4	16.4	18.7	12.9	9.3	7.7	10.7	11.7	13.3	8.4	2.5	25.4

他の医療関係職種の資格取得への関心状況

速報値

- 全体では、「具体的に取得したい資格がある」（2.1%）と「取得に関心がある」（12.2%）を合わせた他資格取得ニーズは14.3%であり、約7人に1人が他の医療関係職種の資格取得に関心を有していた。

- 現在保有している資格とは別に、他の医療関係職種の資格取得希望（単一回答）

	全職種	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT	その他
回答数	12,042	1,349	24	49	1,972	2,077	379	1,440	2,426	1,321	177	257	30	393	81	67
具体的に取得したい資格がある（%）	2.1	1.4	0.0	0.0	2.3	2.5	2.9	2.0	1.5	3.0	2.3	1.6	6.7	4.3	0.0	0.0
取得に関心がある（%）	12.2	6.9	0.0	2.0	11.9	13.7	18.5	11.4	11.9	13.9	15.8	12.5	26.7	17.0	6.2	16.4
今のところ取得したいとは思わない（%）	79.1	84.1	100.0	93.9	79.6	76.3	71.8	80.4	81.0	77.3	75.7	79.4	56.7	71.0	82.7	68.7
分からない（%）	6.6	7.6	0.0	4.1	6.2	7.5	6.9	6.2	5.6	5.9	6.2	6.6	10.0	7.6	11.1	14.9

○ 現在従事している職種以外の医療関係職種資格を保有している者は1.9%であり、複数資格保有者は限定的であった。

○ 現在主に従事している職種以外の医療関係職種の資格※保有状況（複数回答可）

	全職種	NS	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT
回答数	12,021	1,468	1,972	2,077	379	1,440	2,426	1,321	177	257	30	393	81
保有している（名）	223	23	8	14	13	2	51	98	6	2	0	6	0
保有している（%）	1.9	1.6	0.4	0.7	3.4	0.1	2.1	7.4	3.4	0.8	0.0	1.5	0.0
保有していない（名）	11,798	1,445	1,964	2,063	366	1,438	2,375	1,223	171	255	30	387	81
保有していない（%）	98.1	98.4	99.6	99.3	96.6	99.9	97.9	92.6	96.6	99.2	100.0	98.5	100.0

※医療関係職種の資格とはNS、PT、OT、ST、RT、MT、CE、ORT、PO、EMT、DH、DTを指す。

注）保健師・助産師は看護師に含めて集計

○ 複数資格保有者は限定的であり、比較的多くみられたのは臨床検査技師と臨床工学技士の組合せであった。

○ 現在主に従事している職種以外に保有している医療関係職種の資格（複数回答可）

		回答数	主に従事している職種以外の資格											
			NS	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT
現在、主に従事している職種	NS	23	—	0	0	0	0	2	7	0	0	13	4	0
	PT	8	3	—	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0
	OT	14	4	1	—	2	0	2	0	0	0	3	1	1
	ST	13	8	3	0	—	0	0	0	0	0	1	1	0
	RT	2	1	0	0	0	—	0	0	0	0	0	1	0
	MT	51	2	0	0	0	2	—	46	0	0	1	0	0
	CE	98	21	1	0	0	1	72	—	0	0	2	0	1
	ORT	6	6	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0
	PO	2	1	0	0	0	0	0	0	0	—	1	0	0
	EMT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0
	DH	6	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	—	2
	DT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—

注）保健師・助産師は看護師に含めて集計

年齢階層別の他資格取得への関心状況

速報値

○ 他資格取得への関心は、いずれの年齢層でも1～2割程度であり、年齢による大きな違いはみられず、25～49歳のどの年齢階層で同程度の関心がみられた。

○ 取得したい、または関心のある医療関係職種の資格（複数回答可）

	全体		20歳未満		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45～49歳		50歳～	
回答数	12,042		3		534		932		1,175		1,482		1,774		1,823		4,319	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
具体的に取得したい資格がある	257	2.1	0	0.0	12	2.2	21	2.3	21	1.8	33	2.2	38	2.1	51	2.8	81	1.9
取得に関心がある	1,471	12.2	1	33.3	42	7.9	112	12.0	181	15.4	208	14.0	252	14.2	223	12.2	452	10.5
今のところ取得したいとは思わない	9,521	79.1	1	33.3	426	79.8	742	79.6	908	77.3	1,160	78.3	1,378	77.7	1,405	77.1	3,501	81.1
分からない	793	6.6	1	33.3	54	10.1	57	6.1	65	5.5	81	5.5	106	6.0	144	7.9	285	6.6

希望資格ごとの資格取得への関心状況

速報値

- 他資格取得に関心を有する者が取得したい資格としては、看護師が多く、その他の職種は幅広く分散していた。
- 「具体的な職種は決まっていない」が652件と最も多く、希望職種が明確でない層も多く存在した。

- 取得したい、または関心のある医療関係職種の具体的資格（複数回答可）

		取得意向のある資格												
		NS	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT	具体的な職種は決まっていない
現在の職種	全職種	616	130	83	112	97	96	138	54	68	142	23	26	652
	NS	—	4	2	4	3	5	3	0	3	6	3	0	64
	PT	121	—	23	26	4	6	5	7	28	23	4	0	104
	OT	86	15	—	34	6	9	10	14	19	12	3	1	185
	ST	23	7	9	—	3	6	0	7	2	1	6	1	35
	RT	81	29	15	11	—	20	44	8	5	35	1	4	54
	MT	114	32	18	15	44	—	73	15	6	46	3	6	95
	CE	137	21	10	1	28	44	—	3	5	16	1	5	48
	ORT	17	2	1	2	3	2	0	—	0	0	0	0	9
	PO	3	15	2	2	1	0	2	0	—	0	0	2	17
	EMT	6	0	0	0	1	0	1	0	0	—	0	0	3
	DH	28	5	3	16	4	4	0	0	0	3	—	7	35
	DT	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	—	3

※ 値は件数を示す。

注) 保健師・助産師は看護師に含めて集計

○ 他資格取得への関心は、全ての学歴区分で関心層は概ね1～1.5割程度であり、学歴による大きな差はみられなかった。

○ 具体的に取得したい医療関係職種の資格、または取得に関心のある資格を有する者の学歴（単一回答）

	全体 (名)	取得したい ・関心がある者(名)	取得したい ・関心がある者(%)
高等学校卒業	75	8	10.7
各種学校卒業	374	35	9.4
専門学校卒業（専門士）	3,425	508	14.8
専門学校卒業（高度専門士）	690	105	15.2
短期大学卒業（短期大学士）	1,149	144	12.5
高等専門学校卒業（準学士）	101	17	16.8
大学卒業（学士）	4,340	668	15.4
専門職大学卒業（学士（専門職））	201	30	14.9
大学院修了（修士・博士）	1,687	213	12.6

他資格取得を希望する理由

速報値

- 他資格取得に関心がある理由としては、
- ・「専門職として多様な能力・知識を得たい」（71.5%）が最も多く、
 - ・次いで「複数の資格を組み合わせたい」（42.2%）、
 - ・「収入や処遇の向上を期待している」（35.2%）、
 - ・「転職・再就職に役立てたい」（33.9%）であった。

○ 他の医療関係職種の資格を取得したい、または取得に関心がある理由（複数回答可）

	全職種	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT	その他
回答数	1,728	112	0	1	280	336	81	193	325	222	32	36	10	84	5	11
専門職として、多様な能力・知識を得たい（%）	71.5	77.7	0.0	100.0	75.0	73.5	86.4	69.4	68.3	59.5	71.9	66.7	90.0	77.4	80.0	63.6
転職・再就職に役立てたい（%）	33.9	33.9	0.0	0.0	34.6	31.3	19.8	30.6	38.8	38.7	40.6	47.2	30.0	26.2	20.0	27.3
収入や処遇の向上を期待している（%）	35.2	35.7	0.0	0.0	41.4	33.3	21.0	28.5	28.0	49.5	56.3	41.7	20.0	29.8	60.0	45.5
現在の職種を続けることに不安がある（%）	23.8	20.5	0.0	0.0	26.8	24.1	12.3	18.7	21.8	33.3	28.1	41.7	20.0	9.5	60.0	36.4
複数の資格を組み合わせたい（%）	42.2	37.5	0.0	0.0	45.7	45.2	39.5	46.1	39.7	36.9	40.6	33.3	50.0	45.2	40.0	45.5
地域や勤務先で必要とされている（%）	10.4	7.1	0.0	0.0	15.4	14.9	6.2	10.9	7.1	9.9	3.1	2.8	0.0	4.8	0.0	18.2
以前から関心のある職種である（%）	19.4	16.1	0.0	100.0	19.3	14.3	29.6	21.2	22.2	15.8	25.0	13.9	0.0	33.3	0.0	18.2
働く中でその職種のやりがいや魅力を感じた（%）	10.1	8.9	0.0	0.0	12.5	9.2	9.9	9.8	8.6	8.6	9.4	0.0	0.0	21.4	0.0	27.3
その他（%）	4.0	7.1	0.0	0.0	6.1	3.9	3.7	2.1	2.5	5.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	9.1

○ 医療関係職種の資格取得を目指す場合、「働きながら学べる課程」を希望する者が88.1%となっていた。

○ 医療関係職種の資格取得を目指す場合、望ましい養成課程の受講形態（単一回答）

	全職種	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT	その他
回答数	12,042	1,349	24	49	1,972	2,077	379	1440	2,426	1,321	177	257	30	393	81	67
働きながら学べる課程 (%)	88.1	82.1	79.2	83.7	91.0	90.7	82.8	91.9	85.7	90.9	81.4	82.9	93.3	86.3	80.2	82.1
仕事を辞めて学業に専念し学ぶ課程 (%)	11.9	17.9	20.8	16.3	9.0	9.3	17.2	8.1	14.3	9.1	18.6	17.1	6.7	13.7	19.8	17.9

- 受講しやすい学修形態としては、オンデマンド授業を活用した受講を希望する者が多く、「休日中心」（54.2%）、「朝・夜間中心」（51.0%）がいずれも5割を超えた。
- また、「オンデマンド授業と対面授業の組合せ」（46.0%）へのニーズも高かった。

○ 医療関係職種の国家試験の受験資格取得に必要な学修について、受講しやすいと思う受講形態（複数回答可）

	全職種	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT	その他
回答数	12,042	1,349	24	49	1,972	2,077	379	1,440	2,426	1,321	177	257	30	393	81	67
オンデマンド授業を活用し、主に朝や夜間に受講したい（%）	51.0	34.5	33.3	42.9	58.4	54.3	52.2	57.0	48.4	59.6	36.2	37.4	46.7	40.5	29.6	50.7
オンデマンド授業を活用し、休日を中心に受講したい（%）	54.2	42.6	45.8	53.1	55.5	55.0	56.7	56.9	58.9	55.8	46.9	51.8	60.0	48.3	29.6	46.3
リアルタイムのオンライン授業（ライブ配信）を朝や夜間に受講したい（%）	11.8	13.9	12.5	18.4	15.1	14.2	15.8	9.0	8.7	9.3	6.2	10.9	6.7	10.9	9.9	10.4
平日昼間に学校へ通学し、対面授業を受講したい（%）	12.7	21.6	29.2	26.5	11.0	10.4	16.1	9.5	12.9	9.2	16.9	14.8	10.0	13.2	28.4	13.4
平日夜間に学校へ通学し、対面授業を受講したい（%）	10.8	7.3	8.3	12.2	15.4	12.1	9.8	8.3	9.7	11.9	9.0	10.9	6.7	7.6	12.3	9.0
土日を中心に学校へ通学し、対面授業を受講したい（%）	17.3	15.2	12.5	16.3	18.9	16.5	16.9	14.9	19.1	15.8	14.7	24.9	16.7	19.1	14.8	20.9
オンデマンド授業と対面授業を組み合わせた形で受講したい（%）	46.0	54.9	45.8	51.0	47.9	47.7	53.0	36.3	47.7	35.2	47.5	42.8	40.0	60.1	27.2	37.3

他資格取得する際の希望する養成課程（コース）

速報値

- 希望する学ぶ環境としては、「オンデマンド授業を活用して授業時間数を減らしたコース」（66.2%）、「夜間・土日に開講するコース」（51.4%）の回答が多く、働きながら学べる柔軟な養成課程へのニーズが高かった。
- 希望する学び方としては、「修業年限を短縮したコース」（41.5%）の回答が多く、「個々の理解度に応じて、学習の進度や順序を調整できるコース」（24.1%）、「自主学修を活用し、授業総時間数を減らしたコース」（20.9%）が続いた。
- 現役生と同一の修業年限・授業時間数を希望する者は3.7%となっていた。

○ 新たに医療関係職種の国家試験の受験資格を取得する場合、希望する養成課程（複数回答可）

		全職種	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT	その他
	回答数	12,042	1,349	24	49	1,972	2,077	379	1,440	2,426	1,321	177	257	30	393	81	67
学ぶ環境に係る養成課程	働きながらも学修を進められるよう、学校で一律に実施する授業の時間数を減らし、オンデマンド授業で学べるコース（%）	66.2	58.3	62.5	53.1	70.3	68.1	70.2	70.0	65.8	68.5	57.1	58.0	66.7	57.8	38.3	59.7
	働きながらも受講しやすいよう、夜間・土日などの時間帯に開講するコース（%）	51.4	40.5	41.7	34.7	55.0	51.2	53.3	52.1	56.6	49.1	50.3	50.2	46.7	49.6	39.5	46.3
学び方に係る養成課程	より短期間で資格取得を目指せるよう、修業年限を短縮したコース（%）	41.5	36.2	29.2	32.7	43.7	41.6	44.1	42.5	38.2	50.7	36.2	50.6	36.7	31.3	40.7	31.3
	学修経験や知識の個人差が大きい部分は、教員の支援の下で自主学修などの効率的な学修形態も活用しながら、授業総時間数を減らしたコース（%）	20.9	22.1	25.0	26.5	21.7	23.5	25.3	18.1	21.2	16.1	18.6	13.2	10.0	26.0	12.3	22.4
	個々の理解度に応じて、学習の進度や順序を調整できるコース（%）	24.1	28.2	8.3	24.5	23.4	27.0	27.2	18.8	25.9	17.6	24.3	16.7	26.7	30.5	16.0	26.9
	自主学修に重きを置き、到達度に応じて教員の支援を受けられるコース（%）	10.2	9.5	8.3	16.3	11.5	10.7	11.6	10.1	10.0	9.2	6.8	6.2	13.3	10.7	3.7	22.4
	学修経験や知識の個人差にかかわらず、通常どおり、現役生と同じ修業年限や総授業時間数で学習するコース（%）	3.7	5.4	12.5	6.1	4.0	3.1	3.7	2.7	3.4	2.4	7.3	4.3	0.0	5.6	12.3	0.0
	その他（%）	1.1	1.5	0.0	0.0	1.3	0.9	1.1	1.2	1.1	0.6	0.0	1.9	0.0	0.8	0.0	0.0

他職種資格取得の障壁解消策

速報値

- 他の医療関係職種の資格取得に当たり必要な支援としては、「学費・教材費等の費用負担の補助」(77.2%)、「希望する学び方(夜間・通信・オンライン等)を増やす」(73.3%)、「勤務先の理解・支援がある」(64.7%)が多く、経済的負担の軽減や就労と両立しやすい学修環境の整備が挙げられた。
- また、「修学期間を一定程度短くする」(45.1%)、「既修得単位や保有資格が認められやすくする」(43.1%)との回答も4割を超え、柔軟な養成課程へのニーズもみられた。
- 他の医療関係職種の資格を取得する際の障壁(修学期間中の収入減、仕事や家事・育児・介護等との両立困難)をなくすために必要な事項(複数回答可)

	全職種	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT	その他
回答数	12,042	1,349	24	49	1,972	2,077	379	1,440	2,426	1,321	177	257	30	393	81	67
修学期間を一定程度短くする(%)	45.1	37.7	25.0	38.8	48.3	47.4	44.3	47.8	43.6	49.6	39.5	47.9	50.0	34.1	25.9	34.3
学費・教材費等の費用負担の補助(%)	77.2	80.8	62.5	65.3	81.7	79.7	81.8	71.4	72.9	79.0	72.9	73.2	76.7	77.9	70.4	67.2
通学できる距離に学校等の学修環境が整備される(%)	34.1	44.6	45.8	44.9	31.6	32.3	37.7	29.3	37.0	30.4	29.9	26.8	30.0	36.6	16.0	32.8
希望する学び方(夜間・通信・オンライン等)を増やす(%)	73.3	69.4	75.0	77.6	77.0	77.1	74.7	69.6	76.2	68.3	65.0	67.3	56.7	73.8	46.9	74.6
既修得単位や保有資格が認められやすくする(%)	43.1	38.5	37.5	42.9	50.4	46.3	50.4	39.6	42.8	38.5	40.1	29.6	53.3	43.0	19.8	40.3
入学要件をわかりやすくする(%)	19.4	23.9	33.3	34.7	19.4	19.1	18.5	18.2	19.2	17.6	22.0	14.4	23.3	18.1	6.2	25.4
取得後の仕事や処遇に関する情報をわかりやすくする(%)	26.1	30.8	25.0	30.6	27.5	23.9	26.1	23.3	28.6	22.3	27.7	25.7	13.3	23.9	17.3	29.9
勤務先の理解・支援がある(%)	64.7	68.4	75.0	71.4	66.1	65.7	67.8	59.3	68.8	59.4	70.1	52.9	56.7	61.3	30.9	65.7
特に障壁はない(%)	1.0	0.8	0.0	2.0	1.2	1.0	0.5	1.4	0.6	0.5	0.0	1.6	3.3	1.5	11.1	0.0
その他(%)	1.3	0.8	4.2	0.0	1.5	1.3	0.3	1.3	1.5	1.2	1.1	0.4	3.3	1.3	0.0	4.5

○ 希望する学校種別については、「どちらでもよい」が45.1%で最も多く、学校種別を指定した回答では大学（31.6%）が多かった。

○ 現行の修学期間より短い期間や、オンデマンド授業をできるだけ活用した、働きながらでも学びやすい別の医療関係職種の国家試験の受験資格の取得を目指せるコースが設けられる場合の希望する学校種別。（単一回答）

	全職種	NS	PHN	MW	PT	OT	ST	RT	MT	CE	ORT	PO	EMT	DH	DT	その他
回答数	12,042	1,349	24	49	1,972	2,077	379	1,440	2,426	1,321	177	257	30	393	81	67
大学（%）	31.6	43.5	54.2	53.1	34.1	29.3	23.0	35.7	27.3	30.7	18.1	17.9	30.0	29.0	17.3	23.9
専修学校（専門学校）（%）	5.7	4.1	8.3	6.1	4.8	5.4	9.0	4.9	5.4	7.9	6.8	10.5	3.3	8.4	7.4	6.0
どちらでもよい（%）	45.1	34.2	29.2	22.4	46.5	47.0	51.7	42.4	47.3	47.5	54.2	52.5	56.7	41.2	45.7	38.8
このようなコースで学びたいとは思わない（%）	5.3	4.4	0.0	4.1	5.0	5.3	5.5	4.7	7.3	3.3	6.8	6.6	3.3	3.6	4.9	7.5
分からない（%）	11.5	12.9	4.2	14.3	9.0	12.2	8.7	11.3	11.9	10.2	14.1	11.7	6.7	16.8	23.5	19.4
その他（%）	0.8	0.8	4.2	0.0	0.7	0.7	2.1	1.0	0.8	0.5	0.0	0.8	0.0	1.0	1.2	4.5

【医療従事者向け調査】

- 他の医療関係職種の資格取得については、14.3%（約7人に1人）が他資格取得を希望又は関心を有していた。資格取得希望又は関心の程度は年齢や学歴による大きな差はみられなかった。
- 他資格取得に関心を有する者が取得したい資格としては、看護師が多く、その他の職種は幅広く分散していた。「具体的な職種は決まっていない」とする者も多かった。
- 他資格取得に関心がある理由としては、「専門職として多様な能力・知識を得たい」（71.5%）が最も多く、「複数の資格を組み合わせたい」（42.2%）、「収入や処遇の向上を期待している」（35.2%）、「転職・再就職に役立てたい」（33.9%）が続いた。
- 資格取得を目指す場合、「働きながら学べる課程」を希望する者が88.1%となっていた。
- 学修形態としては、休日や朝・夜間に受講できるオンデマンド授業への希望が多く、対面授業との組み合わせも含め、柔軟な受講形態が求められていた。
- 希望する学ぶ環境としては、「オンデマンド授業を活用して授業時間数を減らしたコース」（66.2%）、「夜間・土日に開講するコース」（51.4%）となっており、希望する学び方としては、「修業年限を短縮したコース」（41.5%）「個々の理解度に応じて、学習の進度や順序を調整できるコース」（24.1%）、「自主学修を活用し、授業総時間数を減らしたコース」（20.9%）が多かった。また、現役生と同一の修業年限・授業時間数を希望する者は3.7%となっていた。
- 他資格取得に必要な支援としては、「学費・教材費等の費用負担の補助」（77.2%）、「希望する学び方の充実」（73.3%）、「勤務先の理解・支援」（64.7%）、「修学期間の短縮」（45.1%）、「既修得単位・保有資格の活用」（43.1%）となっていた。
- 資格取得を目指す場合の希望する学校種別は「どちらでもよい」が45.1%と最も多く、学校種別を指定した回答では大学（31.6%）が多かった。

1. 社会人向け調査（速報値）の結果について
2. 医療関係職種向け調査（速報値）の結果について
- 3. 学校養成所向け調査（速報値）の結果について**

- ・ 調査事業名：医療関係職種へのキャリアチェンジ推進に係る調査研究事業
（学校養成所向け調査）
- ・ 調査期間：令和8年7月15日（水）～令和8年8月7日（金）（回答期限延長）
- ・ 調査対象：全国の各医療関係職種の学校・養成所1,920校
（看護師930校、理学療法士266校、作業療法士194校、言語聴覚士73校、視能
訓練士27校、診療放射線技師55校、臨床検査技師37校、臨床工学技士45校、
義肢装具士8校、歯科衛生士191校、歯科技工士45校、救急救命士49校）
- ・ 回答方式：Web調査

○ 有効回答数、回答率

	調査対象校（校）	回答数（校）	回答率（%）
NS	930	581	62.5
PT	266	196	73.7
OT	194	139	71.6
ST	73	48	65.8
ORT	27	23	85.2
RT	55	43	78.2
MT	37	29	78.4
CE	45	30	66.7
PO	8	8	100.0
DH	191	161	84.3
DT	45	40	88.9
EMT	49	34	69.4
全職種	1,920	1,332	69.4

NS：看護師、PT：理学療法士、OT：作業療法士、ST：言語聴覚士、ORT：視能訓練士、RT：診療放射線技師、MT：臨床検査技師、
CE：臨床工学技士、PO：義肢装具士、DH：歯科衛生士、DT：歯科技工士、EMT：救急救命士

○ 社会人・既資格者の受入れについて、「積極的に受入れたい」（39.7%）と「条件が整えば受入れたい」（32.5%）を合わせると72.2%となり、多くの養成校が受入れに前向きであった。

○ 今後の貴校としての当該養成課程における社会人・既資格者の受入れの意向（単一回答）

	全職種	NS	PT	OT	ST	ORT	RT	MT	CE	PO	DH	DT	EMT
回答数	1,332	581	196	139	48	23	43	29	30	8	161	40	34
積極的に受入れたい（%）	39.7	38.7	40.8	38.8	52.1	34.8	16.3	27.6	36.7	50.0	48.4	60.0	14.7
条件が整えば受入れたい（%）	32.5	30.5	35.7	34.5	33.3	34.8	46.5	48.3	46.7	50.0	26.1	25.0	29.4
受入れは難しいと考えている（%）	8.0	9.1	6.1	7.2	2.1	0.0	14.0	10.3	6.7	0.0	8.7	2.5	11.8
わからない（%）	14.3	13.8	15.3	14.4	10.4	30.4	18.6	10.3	6.7	0.0	14.3	12.5	20.6
その他（%）	5.6	7.9	2.0	5.0	2.1	0.0	4.7	3.4	3.3	0.0	2.5	0.0	23.5

養成校の社会人・既資格者を受入れるための支援や体制

速報値

- 社会人・既資格者向けの取組としては、「入試・選抜の枠や方式の設定」（59.8%）や「既習単位の評価による履修免除・単位認定」（47.8%）が多く挙げた。

- 貴校の現在の養成課程における社会人・既資格者を受入れるための支援や体制（複数回答可）

	全職種	NS	PT	OT	ST	ORT	RT	MT	CE	PO	DH	DT	EMT
回答数	1,332	581	196	139	48	23	43	29	30	8	161	40	34
社会人・既資格者向けの入試・選抜の枠や方式を設けている（%）	59.8	65.2	57.7	59.0	58.3	60.9	48.8	65.5	50.0	62.5	59.0	42.5	26.5
既習単位の評価による履修免除または単位認定を運用している（%）	47.8	57.1	45.9	46.0	41.7	39.1	48.8	48.3	40.0	25.0	33.5	32.5	17.6
通学しやすい開講形態（夜間・土日・短時間）を設けている（%）	2.7	0.9	4.1	1.4	2.1	8.7	2.3	0.0	0.0	0.0	7.5	10.0	2.9
遠隔授業・サテライト施設の設置等で柔軟に受講できる環境を整えている（%）	2.5	1.9	3.6	2.9	4.2	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	5.0	0.0
学び直し・リカレントの相談・キャリア支援の窓口を設置している（%）	8.8	5.3	9.7	7.2	16.7	8.7	7.0	13.8	26.7	12.5	13.0	12.5	14.7
社会人・既資格者学生向けの学習・生活面のサポート体制を整えている（%）	9.4	7.1	7.7	12.2	14.6	8.7	0.0	6.9	10.0	12.5	14.9	22.5	11.8
その他（%）	3.8	2.6	3.1	3.6	6.3	8.7	4.7	6.9	6.7	0.0	3.7	10.0	8.8
特に社会人・既資格者向けの支援・体制は設けていない（%）	24.6	22.7	24.5	25.9	25.0	21.7	32.6	13.8	26.7	25.0	23.6	25.0	55.9

○ 社会人・既資格者専用コースの設置について、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計は41.3%、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は26.2%となっていた。

○ より学びやすい環境にするため、社会人・既資格者専用のコースを設ける方が望ましいと思うか。（単一回答）

	全職種	NS	PT	OT	ST	ORT	RT	MT	CE	PO	DH	DT	EMT
回答数	1,332	581	196	139	48	23	43	29	30	8	161	40	34
そう思う（%）	5.9	4.0	6.6	10.8	18.8	0.0	9.3	6.9	0.0	0.0	5.0	5.0	5.9
どちらかといえばそう思う（%）	20.3	15.7	25.5	21.6	29.2	13.0	27.9	27.6	33.3	37.5	24.2	17.5	11.8
どちらかといえばそう思わない（%）	14.0	15.3	12.8	10.1	12.5	17.4	20.9	10.3	13.3	12.5	11.8	17.5	14.7
そう思わない（%）	27.3	27.4	26.5	26.6	18.8	34.8	18.6	27.6	30.0	37.5	28.6	40.0	26.5
わからない（%）	32.5	37.7	28.6	30.9	20.8	34.8	23.3	27.6	23.3	12.5	30.4	20.0	41.2

社会人・既資格者における学習継続の障壁

速報値

○ 社会人・既資格者が入学し学習を継続するにあたっての主に障壁としては、「修業年限が長く、働きながら（介護・育児等をしながら）通学することが難しい」（35.8%）、「実習先とのスケジュール調整が難しい」（34.1%）、「柔軟な科目設定や時間割編成が難しい」（28.4%）が挙げられた。

○ 社会人・既資格者を受入れるための支援や体制を整備していても、社会人・既資格者が入学し学習を継続するにあたり主に障壁になっている事項（最大3つ）（複数回答可）

	全職種	NS	PT	OT	ST	ORT	RT	MT	CE	PO	DH	DT	EMT
回答数	1,004	449	148	103	36	18	29	25	22	6	123	30	15
修業年限が長く働きながら（介護・育児等をしながら）通えない（%）	35.8	31.8	44.6	42.7	33.3	44.4	41.4	40.0	54.5	50.0	35.0	16.7	6.7
社会人・既資格者の既習内容や実務経験を、履修科目や学習量の軽減に十分反映できない（%）	21.7	18.5	20.9	28.2	36.1	22.2	6.9	32.0	22.7	50.0	22.0	33.3	20.0
教員数や教員の勤務体制の制約により、社会人・既資格者向けの柔軟な科目設定・時間割を組むことが難しい（%）	28.4	25.2	22.3	28.2	30.6	27.8	24.1	56.0	54.5	50.0	35.8	33.3	26.7
社会人・既資格者の希望する時間や時期等に応じた実習先のスケジュールを柔軟に調整することが難しい（%）	34.1	31.2	33.8	35.0	52.8	33.3	34.5	56.0	36.4	50.0	37.4	16.7	33.3
わからない（%）	15.7	14.9	20.9	24.3	16.7	5.6	17.2	12.0	18.2	0.0	8.1	6.7	26.7
その他（%）	7.0	6.2	6.8	2.9	8.3	11.1	13.8	4.0	13.6	0.0	7.3	13.3	20.0
特に障壁はない（%）	21.3	27.6	16.9	10.7	8.3	22.2	17.2	8.0	4.5	0.0	22.8	30.0	13.3

○ 社会人・既資格者専用コースの形として、「学修経験や知識の個人差が大きい部分について効率的な学修形態を活用し、一律に履修する授業の総単位数を減らす」（38.4%）や、「社会人・既資格者が受講しやすい時間帯（夜間・土日等）にする」（37.2%）、修業年限の短縮（31.2%）や、自主学習を基本とした柔軟な学修形態（30.1%）が挙げられた。

○ 社会人・既資格者専用のコースを設ける場合、どのようなコース設計であるとよいと考えるか。（複数回答可）
※ 専用のコース設ける方が計が望ましいと思うかに対し、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した学校のみ回答

	全職種	NS	PT	OT	ST	ORT	RT	MT	CE	PO	DH	DT	EMT
回答数	349	114	63	45	23	3	16	10	10	3	47	9	6
一律に行う授業時間を減らす（%）	23.8	21.1	25.4	31.1	30.4	0.0	18.8	10.0	20.0	0.0	23.4	22.2	50.0
学修経験や知識の個人差が大きい部分は、自主学修など効率的な学修形態も活用しながら、一律に履修する授業の総単位数を減らす（%）	38.4	37.7	38.1	35.6	26.1	66.7	31.3	60.0	50.0	66.7	36.2	55.6	50.0
社会人・既資格者が受講しやすい時間帯（夜間・土日等）にする（%）	37.2	32.5	38.1	40.0	26.1	100.0	62.5	30.0	50.0	66.7	34.0	33.3	50.0
個々人の理解度に応じて、学ぶ順番や進む速さを調整できるようにする（%）	26.4	27.2	31.7	31.1	21.7	33.3	25.0	20.0	10.0	0.0	25.5	11.1	16.7
社会人・既資格者の自主的な学習に重きを置き、到達度に応じて学校がフォローする（%）	30.1	27.2	33.3	31.1	26.1	0.0	37.5	30.0	20.0	0.0	42.6	11.1	16.7
従来の制度よりも修業年限を短期間にする（%）	31.2	24.6	47.6	37.8	39.1	33.3	37.5	30.0	50.0	66.7	10.6	22.2	16.7
その他（%）	4.6	6.1	1.6	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.6	0.0	16.7

【学校養成所向け調査】

- 社会人・既資格者の受入れについては、「積極的に受入れたい」（39.7%）と「条件を整えば受入れたい」（32.5%）を合わせて72.2%となり、多くの養成校が受入れに前向きであった。
- 社会人・既資格者向けの取組としては、「入試・選抜の枠や方式の設定」（59.8%）や「既修得単位の評価による履修免除・単位認定」（47.8%）が多く挙げられた。
- 社会人・既資格者専用コースの設置について、望ましいかを聞いたところ、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計は41.3%、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は26.2%となっていた。
- 社会人・既資格者が入学し学習を継続するにあたっての主に障壁としては、「修業年限が長く、働きながら（介護・育児等をしながら）通学することが難しい」（35.8%）、「実習先とのスケジュール調整が難しい」（34.1%）、「柔軟な科目設定や時間割編成が難しい」（28.4%）が挙げられた。
- 社会人・既資格者専用コースの形として、「学修経験や知識の個人差が大きい部分について効率的な学修形態を活用し、一律に履修する授業の総単位数を減らす」（38.4%）や、「社会人・既資格者が受講しやすい時間帯（夜間・土日等）にする」（37.2%）、修業年限の短縮（31.2%）や、自主学習を基本とした柔軟な学修形態（30.1%）が挙げられた。